

鹿児島市火山防災トップシティ構想に係る提言書（案）の概要について

1. 提言書の概要

(1) 構想の目的

- ・ 総合的な「桜島」火山防災力の底上げ（市民、事業者、行政による、桜島の火山防災に関する意識及び取組を高めることにより、総合的に桜島火山への理解促進及び防災力の底上げを図る。）
- ・ 桜島火山の魅力発信による交流人口を含めた関係人口の拡大（トップレベルの火山防災に取り組む「安心して観光できるかごしま」として、桜島火山の恵みなどの本市の魅力をあわせて発信することで、関係人口の拡大を図る。）

(2) 目指すべき姿



桜島と向き合ってきた姿や他都市にない火山防災対策

桜島における資源や恵みの活用

鹿児島市が目指すべき火山防災トップシティ

これからも桜島と共生していくための取組を、市民や事業者と行政が一体となって向上させながら、国内外の活火山地域の被害軽減のために、対策の発信や貢献を行える火山防災のトップシティとして、火山防災のモデル都市の役割を果たしていく。

(3) 取組の方向性

3本の柱	具体的な方向性（主な取組例）		
① 防災強化 世界モデルとして火山防災をさらに強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 桜島島内における火山防災対策のさらなる強化 ・ 桜島島内の火山観光に係る安全対策のさらなる強化 ・ 日常的な噴火での降灰対策のさらなる強化 ・ 大規模噴火時に備えた市街地側の対策の推進 ・ 火山防災訓練のさらなる強化 ・ 火山防災体制向上に向けた研究の推進強化 ・ 大規模噴火対応に向けた火山防災先進地域との連携強化 ・ 火山防災に関する人材育成の実施 	<ul style="list-style-type: none"> （広く災害対策モデルの取り入れ） （情報提供や避難体制の強化） （降灰対策の体制の検証や市民へのきめ細やかな対応の検討） （大量の軽石火山灰対策の推進、市街地側の観光客対応・訓練実施） （訓練実施時期や避難方法、訓練種目の多様化） （過去の大規模噴火や海外事例の研究） （ナポリ市やスレマン県等との連携） （市民や企業等への防災研修、小中学生に対する防災教育の推進） 	
② 情報発信 地元、国内、海外等、対象に応じた情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外の火山地域への降灰対策等の先進事例の情報発信 ・ 火山防災に係る各種会議の誘致 ・ 市民に向けた火山防災対策の発信 ・ 市民や事業者等が参画する中での防災情報の発信 ・ 観光客向けの平時からの情報発信 ・ 火山の特徴や恵みを体感できる火山観光情報の発信 ・ マスコミを通じた安全情報の発信のあり方の研究と実践 ・ 火山防災に係る情報発信拠点の設置及び体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> （他の地域でわからない知見のまとめ、対策を外国語で発信） （火山関係会議の誘致と積極的な参加） （各種火山防災対策のアーカイブ化、体験ツアーの開発） （火山防災に関するポスターや標語の募集） （外国人向けのきめ細やかな防災情報の提供） （火山体験ツアーの開発） （マスコミとの懇談会の実施） （情報発信拠点の設置、体制構築） 	
③ 世界貢献 世界の火山地域への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火山防災対策に関する視察や防災訓練の参観の積極的な受入 ・ 他の火山地域での火山災害発生時に支援できる仕組みの構築 ・ 火山防災に係るノウハウの積極的な提供 ・ 火山そのものを体験できる機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> （視察や訓練参観に係る手続きの整理） （支援体制の構築、火山地域同士の協定締結） （道路降灰除去や避難計画策定のノウハウの提供） （火山活動を体験する機会の提供） 	